

## 1 学校関係者評価委員会の構成

- ・湊 恵理子 前スクールコーディネーター、前わくわく滝野川ひろば実行委員長
- ・猪鼻 喜久雄 上中里高台自治会 会長、民生・児童委員
- ・石川 千世 石川幼稚園 園長
- ・小山田 美江子 田端児童館 館長
- ・所澤 潤 立正大学心理学部 教授
- ・橋本 修一 前PTA 会長
- ・山口 智治 PTA 会長

## 2 学校関係者評価委員会の主な活動

- 令和5年6月24日 第1回学校評議員会
  - ・学校経営方針について（校長）
  - ・北区基礎基本の定着度調査の結果について（校長）
  - ・年間行事について（教務主幹）
  - ・児童の様子について（生活指導主幹）
  - ・意見交換
- 令和5年11月18日 第2回学校評議員会
  - ・学芸会鑑賞
  - ・1学期及び2学期前期の教育活動について（各種調査結果、校内別室指導等）
  - ・意見交換
- 令和6年1月20日 第3回学校評議員会
  - ・学校経営報告
  - ・学校評価アンケート（児童、保護者、教員）の結果について
  - ・意見交換
- 令和5年4月～令和6年3月
  - ・学校公開参観
  - ・道徳授業地区公開講座参観（12月2日）
  - ・各学校行事参観（入学式、運動会、学芸会等）
  - ・研究発表会参観（2月9日）

## 3 学校関係者評価の結果と分析

（評価は四段階 A:大いに達成 B:概ね達成 C:もう一息 D:不十分 E:評価できない）

Aを4点、Bを3点、Cを2点、Dを1点としたときの評価の平均を数値で表した。

No.	評価項目（人）	A	B	C	D	E	指数	評価
1	学校生活	5	2	0	0	0	3.7	A
2	児童の学力	5	2	0	0	0	3.7	A
3	学習指導	4	2	0	0	1	3.6	A
4	算数習熟 度別指導	5	1	0	0	1	3.8	A
5	NIE	4	3	0	0	0	3.6	A
6	ICTの活用	2	4	0	0	1	3.3	

7	基本的な生活習慣	3	4	0	0	0	3.4	
8	特別活動	3	2	1	0	1	3.3	
9	健康教育	4	2	1	0	0	3.4	
10	心の教育	3	4	0	0	0	3.4	
11	読書指導	4	3	0	0	0	3.6	A
12	教育相談	3	4	0	0	0	3.4	
13	いじめへの取組	3	3	0	0	1	3.5	
14	特別支援教育	5	2	0	0	0	3.7	A
15	広報活動	2	5	0	0	0	3.3	
16	総合評価	4	3	0	0	0	3.6	A

★3.6以上をAとした。

「学校生活」「児童の学力」「学習指導」「読書指導」「特別支援教育」の項目で、高評価をいただいた。今年度、新型コロナウイルスの影響が軽減し、学校公開も以前のペースで行えるようになり、学校評議員の方にも来校いただく機会が増えた。行事だけでなく、普段の学校生活の様子も直接見ていただく機会を、次年度も設定する。

「広報活動」については、保護者のニーズに応えながら、教育活動を広く伝えていけるよう、次年度も改善していく。

#### 4 改善の方策についての意見

○学校が、様々な取組を行っておられることを知ることができました。幼小の連携はスムーズかと思いますが、個々の子供たちをより知っていただき、対応をお願いします。

○先生方の努力と配慮には、いつも感謝しております。

○子供たちが、放課後も含め、学校生活を楽しく元気に過ごせる居場所として充実できるよう、ご協力できればと思っております。

○廊下の壁新聞を拝見しました。「日本の歴史 深掘り！新聞」の「明治の日光」に感心しました。小学校6年で、アーネスト・サトウに注目した記事をまとめられるのは、滝小の教育、NIEの成果だと思います。学校評価にこういうことが反映できるとよいと思います。

○保護者と教職員の意見を参考に評価させていただきました。

○子供同士のトラブルについては、校内の出来事のみならず、教職員が交友関係を丁寧に観察し、適宜アドバイスを行っていた点が評価できました。また、別室登校の教室が用意されたことは、非常によかったと思います。ただ、対応する教員が昼までしかいないこと、児童数の増加により、教室数が不足しつつある点は、今後の課題だと思います。最後に、児童を指導する際に、廊下に立たせる行為はときに批判も耳にいたします。時代や考え方の移り変わりを踏まえ、再考する余地はあるかと思っております。